

ロシア材第1船

今月11月8日に愛知県飛島村の木材港に出かけて、今シーズン最初に本州（北海道を除く）に輸入された現地で選木されたロシア材に出会ってきました。材の良し悪しのコメントは服部新聞の発行日と名古屋で開催される市日との兼ね合いで細かい事は書けません。又この市に小生が参加するのかは解らないので、小生のこの原木に対するコメントも書けない事をお許し下さい。

今月号でロシア材の状況を取り上げた理由は、小生がこの時期にロシア材の新材と巡り会えた事実は、平成25年秋から平成26年の春までの今年の広葉樹シーズンに価格・数量は不明ですがロシア材が日本に順調に輸入されてくることは、ほぼ間違いないと判断出来る確かな情報だと思うからです。

と言うのは、ここ3年間ロシア材の対日本向け原木の輸入状況は3年前の年を除いて順調に輸入されていませんでした。現地の天候不順・現地ロシアの大幅な伐採規制・中国国内の旺盛な需要・大幅な為替変動等の要素で日本国内の輸入業者は悪戦苦闘しているのを見てきたからです。

今回名古屋港に輸入された原木の品質以外の情報に関しては服部新聞を読んで頂いている皆様には、ホットな新鮮な情報を小生独特の言い回しで申し訳ありませんが、下記に書きます。

- 1、今年のロシア材のナラ材とタモ材の割合の傾向はナラ1本に対してタモ3本の割合だと想像できません。
- 2、径級60センチ以上の太い原木の割合は選木クラスでも30%以下だろうと想像できます。
- 3、特選原木は本当に少なくなっている。全体の原価は為替の大幅な変動によって最低10%から15%上がっているの一番上の突板クラスと製材クラスの間あたりの原木の値付けが難しい作業だと思えました。



ところで、今年8月に2020年に東京で開かれるオリンピックが決定されました。と言う事は2~3年先以降に大きな需要が出る事が想像できますが、そこまでに材料を少しずつ集めることは、ここ最近の木材需要の動向、(人気商品が資源の量を全く考えない状況で急激に推移する事で起こっている価格の大幅な変動・例えばここ数年はブラックウォールナットが好まれているが、大きな物件例えば外国からの訪問者が宿泊する多くのホテル等がもしブラックウォールナットを必要とした場合、木材原料を供給する森から見るとブラックウォールナット材では賄い切れません、当然ナラ材に頼らざるを得ないが、しかしアメリカ材のホワイトオークに最終的に頼らざるを得ない事実) から見る材料選定を間違えると最終施工時に資材不足等の問題点が多く発生するだろうと小生は想像します。

例えば内部造作材をホワイトオークで施工する場合、突板は十分供給できるがホワイトオークの無垢材の幅広材は供給に品質上(表面ワレが非常にしやすい欠点がある)問題点があります。

オリンピック景気で大きな需要が出る事に対しての高揚感は確かに小生の心の中にも少しはありますが、それより本当に消費者目線で考えたとき、使われる材料の選定を偏ったことだけは、避けて欲しいと思います。

ハウスメーカー通り

小生は大阪市住之江区西住之江に住んでいますが、近くに面白い通りがあります。その通りを小生は旭化成通りと名付けました。

右の一番上の住まいは今年の4月頃古い家を取り壊して7月に新築された住まいです。上から2番目の住まいは築10年位の住まいです。上記2棟は親戚だと思えます。

上から3番目は上記2棟から1棟の住まいを挟んで9月末に古い住まいを解体し、更地期間は3週間位で現在建てかけの状況（11月1日）です。

一番下は上記3棟から1棟の住まいを挟んでいません。8月末頃に古い住まいを解体し約1か月間更地になっていました。小生の記憶では10月初めに工事が始まったと思います。写真は11月10日現在の状況です。

小生は旭化成の住まい作りのノウハウ等の情報は全く持ち合わせていませんが、一つだけ承知しています。それは近くに建っている建売住宅との比較です。基礎工事（↓）が全く違います。それ以外の事は建築士・工務店でもないのので詳しいことは解りませんが全く違うように見えます。



ここで取り上げた事は旭化成の住まい作りが素晴らしいのではなく、消費者にプレハブメーカーの出来ない事を提供出来ていない事が理由です。

具体的に言えば無垢材の良さを伝えるのは建築士さんが設計した物件の方がより消費者目線の住まい作りだと小生は思いますが、現実にはそうはなっていない。

もしこのまま何も行動（プレハブメーカーの出来ない事を探すこと）しなかったら、ただ死を待つだけではないかと思えます。

そんな後ろ向きで死を待つことを小生は望みません。

小生はハウスメーカーの出来ない事を考えて、あくまで消費者目線とはどういう事かを真剣に考え行動していきます。

この3棟の住まいの注文をしている方々は長年地元で住まわれている方です。500メートルほど東に行け



ば地元の古くから住まい作りをされている立派な工務店さんがいます。又この地区は近所付き合いを非常に大切にしている地区です。文教地区と言っても良い住環境です。プレハブメーカーが闊歩する地区ではございません。そういう状況にあって素晴らしい設計が出来る建築士さんの注文住宅の物件が非常に少ないことを考えると、建築士・工務店・材木屋・不動産業者と少なからず利害関係が錯綜する業者全体が一致して同じ方向（プレハブメーカーの出来ないこと）を考えて具体的な行動にまい進する時期が到達していると思います。小生は考えて行動していきます。

名古屋木工機械展



11月8日に約20年ぶりに木工機械展に出かけてきました。そこで感じた事を書きます。

- 1、木工機械展の入場者は真剣に新しい物を見に来ている。冷やかしの方も多少いるとは思いますが、すごく多くの方達が集まっていると思いました。
- 2、業界関係者の関係は材木屋より仲間関係が良い様に思えました。ライバル関係の緊張感はありませんが、材木屋にない何かの結束感が有るように思えました。
- 3、多くの出店メーカーが多額の経費を掛けて実演をしています。リアルで素晴らしい演出をしています。と言う事は材木屋より利幅が大きい商いだと感じました。
- 4、木工機械も純国内製造が少なくなって来ているように思えました。理由は解りませんが、小生がお話した機械メーカーさんの製造は中国・台湾だと言っていました。
- 5、確かに新しい木工機械は必要です。しかし余りに設備に頼り切る事は、技術者の技術の低下に結び付きとも考えます。その折り合いが非常に大事だと思います。

小生は今回の木工機械展で全自動四面削り機械（モルダー）を購入しました。小生の思い『神様が与えてくれた最高の贈り物（無垢材）を適正な価格で、求められる形でしかも適材適所・少量多品種・短納期にも対応を可能にするにはどうしても機械が必要と言う結論に達しました。』は大手プレハブメーカーが出来ない本当の安らぎ・憩を享受出来る住まい作りを、建築士さんと一緒にしたいのです。

芦屋の庄司建築士さんからも、小生と同様な考えで一緒に住まい作りに取り組みたいとお誘いを頂いていますが、この挑戦を成功に持っていくには新たな設備が必要だと言う結論に達し購入しました。

北海道もロシア材が入荷しています。

11月15日（金曜日）に北海道旭川開催された第370回広葉樹銘木市にも今シーズン最初のロシアから輸入されたタモ・ナラが出品されていました。

輸入コストが具体的にいくらなのかは解りませんが、小生の 30 年の経験と市の当日の内容から見ると昨年比 10~15% 価格上昇しているだろうと思いました。小生はタモ 3 本とナラ 6 本を落札しました。写真はロシア産タモ・ナラ原木が並んでいる展示コーナーです。前々日に雪が降りました。今年ロシア材の傾向を北海道の広葉樹市の傾向から分析します。

- 1、為替分コスト上昇しています。
- 2、タモの方が高い傾向が有ります。
- 3、名古屋に入荷した分と同じように原木の径が細くなっている
- 4、ロシア材の原木の割合はナラ 1 本に対してタモ 3 本~4 本の割合である。
- 5、本格的に日本に輸入される時期は来年 1 月以降だと思われる。



先月号アンケートの報告とお願い

住いに素晴らしい無垢材を使いたいと思う方は本当に多くいると思いますが、凄く問題が有る事も承知しています。流通が多すぎることもそうでしょう。その為に高価な木材製品になっているかも知れません。職人不足の事も有ると思います。少量しか要らない事も有ると思います。其れに対応する業者がない事にも理由は有ると思います。小生はどうしたら色んな問題を解決できそうなのかを考えようと思いました。そして皆様にご意見をお聞きしたいと思い別紙アンケートを御願ひします。

上記アンケートに多くのお返事を頂きました。小生はすごく感謝しています。ありがとうございます。

多数のお返事を頂きましたが、その中で凄く気になった 2 通のお返事をご紹介させて頂いて具体的にお話を進めたいと思います。

1、建築士より施工会社に対して役に立つかな。今は現場への造作材の搬入は（削ってきて）という要望が殆どです。高価な木材を加工するならば、建材メーカーの様な加工ではなくて仕口にも複雑な加工が必要かと思ひます。

2、当社では、現在被災者向け住宅の建築の為、山側高台や丘陵地に宅地の造成が盛んです。当社も市内に展示場を建設し住宅産業に参入する方針で進んでいます。情報提供の程、今後共宜しくお願ひ致します。

確かに建築士さんより施工会社に喜んで頂けるのが、加工と言う作業だと思ひますが、それでもあえて建築士さんにお聞きしたいと小生は思ひます。その理由は上記 1 の回答がどうしても小生の考えに何かもやっとした物を齎したからです。

建築士さんは多くのお施主さんに良質の無垢材を出来るだけコストを抑えて提供したプレハブメーカーの出来ない住まい作りを実現したいと考えていると思ひます。しかしコスト『仕口は刃物次第で色んな形を作れますが、刃物はすごく高価です。』を抑える手段として何が出来るのかも当然考えて頂ける立場に有ると思ひます。しかし刃物がどの程度するのか等の細かい情報を持ち得ていないと小生は思ひます。

そんな事（刃物の値段）は加工業者が考えることだから、考える必要がないと思われる建築士さんもいらっしゃるかもしれませんが、その事は是非知っていただきたいと思ひます。

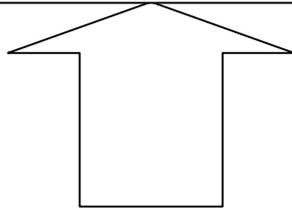
1 例だけ書きます。フローリング用刃物が 1 セット 185,000 円です。設計に直接関係しない情報等も知って頂く事も大事だと思ひます。それが有る意味プレハブメーカーに対抗する手段としたら優良な情報になるのではと小生は思ひます。小生が 1 回目に発注した刃物の種類を下記に書きます。

- 1、四方削り用刃物 1 式
- 2、フローリング・ピーリング兼用カッター（10 ミリ~18 ミリ）
- 3、フローリングカッター（15 ミリ~24 ミリ）
- 4、鴨居・敷居用溝突きカッター

その他まだまだ多くの刃物が必要だと思ひます。建築士さんにプレハブメーカーとの競争に勝って頂くために小生は頑張りますのでよろしくご指導ご鞭撻をお願ひします。

加工仕上げを教えてください。

FAX 072-422-8577



モルダー加工を積極的に取り組んで行こうと考えていますが、小生は何も解りません。モルダーの加工の比率を是非教えて下さい。お願いします。

- 1、四方削りの割合は造作材が 100 丁有れば大体 丁です。
- 2、敷き・鴨居のシャクリ加工の割合は 100 丁有れば 丁です。
- 3、こんな形の加工が求められている。

4、備考

会社名	
担当者名	
〒及びご住所	
お電話番号	
FAX 番号・E-mail	

(株) 服部商店
〒596-0011
大阪府岸和田市木材町 16-1
TEL 072-438-0173.0511